

firmware 4.0.2.33.r2 → 4.0.4.18以降の変更点

～Action Group～

Firmware 4.0.4.18 より、イベントコントロール内のアクションに関する項目が変更され、よりシンプルに、より多機能になりました。

変更前

イベントコントロール	<ul style="list-style-type: none">イベント共通設定 (動作待機とイベントLED)イベント設定 (ビデオモーション、周期イベント、ユーザクリック、...)イベントフィルタ (イベントカウンタ)イベントロジック (発生順序)記録 (イベント、連続&スナップショット記録)アクション (FTP、信号出力、ビジュアルアラーム)メッセージ送信 (Eメール、サウンド、通話、IP Notify)メッセージ送信2 (FTP、Eメール、サウンド、通話、IP Notify)
------------	--

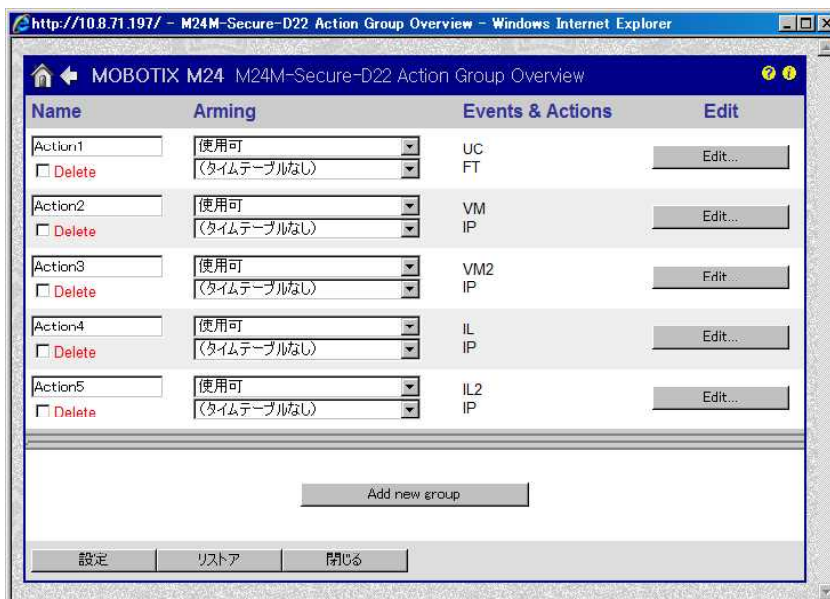
変更後

イベントコントロール	<ul style="list-style-type: none">イベント共通設定 (動作待機とイベントLED)イベント設定 (ビデオモーション、周期イベント、ユーザクリック、...)イベントフィルタ (イベントカウンタ)イベントロジック (発生順序)記録 (イベント、連続&スナップショット記録)Action Group Overview (Phone Call, SMS, FTP, E-Mail, ... on Event)
------------	---

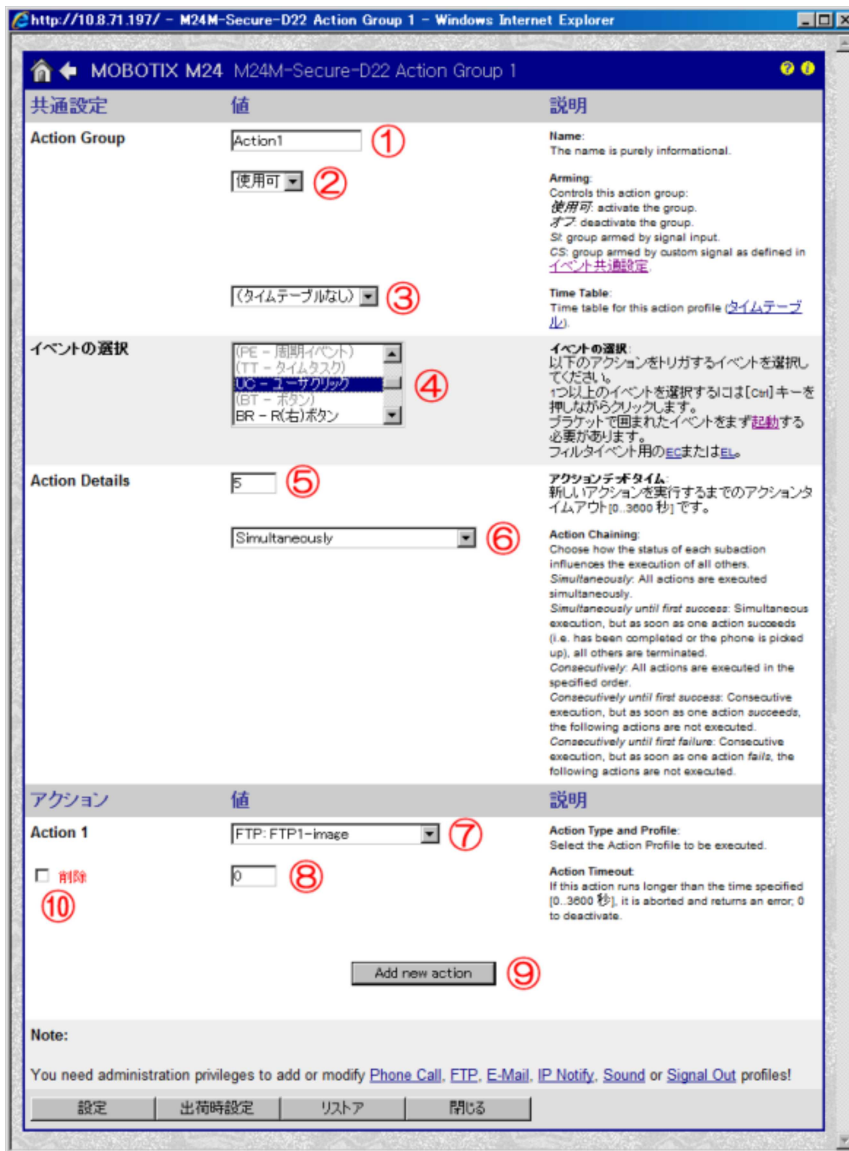
Firmware 4.0.2.33.r2 までは、アクションに関する制御項目が3つまでに制限され、例えば以下に示すような5つのアクションの同時設定を行うことは出来ませんでした。

- ・ UserClick が押されたら FTP サイト 1 に静止画を転送
- ・ VideoMotion1 が反応したら、画像サイズを VGA に変更する IP_Notify_V 動画を転送
- ・ VideoMotion2 が反応したら、画像サイズを MEGA に変更する IP_Notify_M 動画を転送
- ・ 照明 (IL) が反応したら録画を開始する IP_Notify_RecON を実行
- ・ 照明 2 (IL2) が反応したら IP_Notify_RecOff を実行

Firmware 4.0.4.18 からは、アクショングループを追加/設定することにより、以前と比較して多くのアクションを行うことが出来るようになっています。



アクション設定を行う場合には、Edit ボタン をクリックします。



- ① アクション名を入力します。
- ② 動作を使用可にします。
- ③ タイムテーブルを指定できます。
- ④ このアクションを実行するイベントを選択します。
- ⑤ このアクションに対するデットタイムを指定できます。
- ⑥ 複数のアクションをどういった形で動作させるか の設定を行います。

Simultaneously

全てのアクションを同時に実行します。
アクションが単独の場合はこの設定で使用します。

Simultaneously until first success

全てのアクションを同時に実行しますが、1つのアクションが早く完了した場合、残りのアクションを中断します。

(使用例) IP 電話等でカメラから複数台の IP 電話にコールし、1台の受話器が上がったら他へのコールは止める など

Consecutively

アクションを上から順番に実行します。

Consecutively until first success

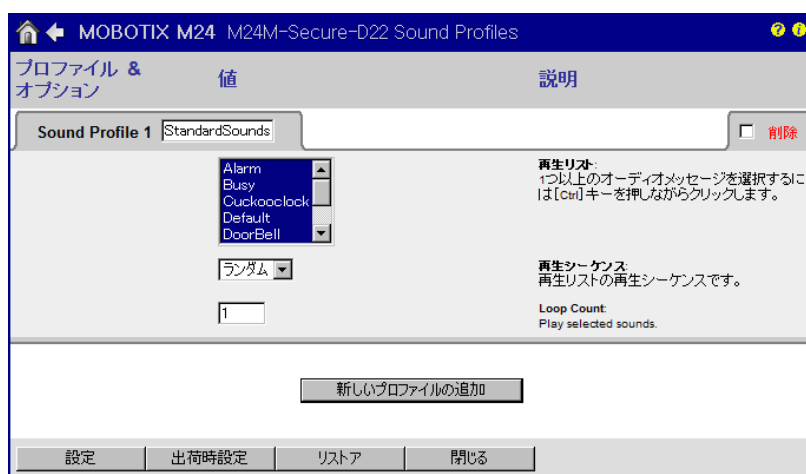
アクションを上から順番に実行しますが、1つのアクションが完了したら残りのアクションを実行しません。

Consecutively until first failure

アクションを上から順番に実行しますが、1つのアクションが完了できなかったら残りのアクションを実行しません。

- ⑦ ④が発生した際に動作させるアクションを選択します。複数設定が可能です。
- ⑧ ⑦の動作に対してのタイムアウト値（秒）が設定可能です。
- ⑨ 複数のアクションを動作させたい場合、このボタンをクリックすることで項目を増やすことができます。
- ⑩ ⑨で増やしたアクションを削除出来ます。チェックを入れ、設定ボタンを押すことで削除します。

また、上記設定変更に伴い、サウンド設定にもプロファイルが設けられました。



鳴らす順番や回数などをプロファイルとして設定することが可能です。